



『第27回 東京校歌祭』 報告

校歌祭担当 木名瀬 伸博 (32期)

台風で甚大な被害があり雨も多い今年、当日の天気も心配されましたが、そのような中、天気にも恵まれた10月の第4日曜日「第27回東京校歌祭」が、恒例となった会場、杉並公会堂で開催されました。参加団体は、昨年より1校減った（小石川が退会しました）都内の高校同窓会の19校、19団体が参加しました。今年も本校の出番は早く、今年も芦花高校の合唱部が参加しました。

12:30に開会式のプラカード入場者がステージに並び、宇津木会長の挨拶、杉本実行委員長の開会宣言が始まり、一番はブラスバンド演奏付きの文京高校が開会のファンファーレに続き市立三中校歌・校歌・生徒歌を披露しました。つづいてブラスバンド伴奏の石神井、三商、白鳳（第一高女）、竹早（第二高女）、千歳・芦花、両国、小松川、新宿、武蔵丘、ブラスバンド伴奏の九段の各校が歌い前半を終えました。中休みでは全員合唱で「故郷」を歌い休憩に入りました。後半は来賓挨拶のあと全員合唱「花は咲く」を会場で歌い始めました。後半ステージでは、ブラスバンド伴奏の小山台から始まり、武蔵丘、隅田川、江北、豊多摩、一商、立川、戸山、そして最後がブラスバンド演奏付きの西高校でした。ご来場のお客様の数は例年並みでしたが参加者を含め、大いに盛り上がりました。

今年も千歳高校・誠之会は、芦花高校の合唱部の参加もあり、総勢29名で、「健児の歌、千歳高校校歌、芦花高校校歌（芦花という名の学びの庭に）」を、優美に歌いました。今年も指揮は、廣瀬泰文さん(32期)、ピアノ伴奏も小鹿 紡さんをお願いしました。歌った本校校歌は、練習の成果が生きてよい合唱になり好評でした。

校歌祭終了後は、公会堂地下のホールで、懇親会が開催され、当校からは2名という少人数の参加でしたが美味しく飲食をしながら、いろいろな話に花が咲きました。今回も他校との交流を行い、『夏の思い出』の歌を披露しました。

今年度、東京校歌祭の舞台・進行の実行委員は千歳でとのことがあり、私が担当となり皆様へのお世話が行き届かなかったかもしれません。お陰様で、進行は支障なく完了できました。

ご参加いただいた皆様、大変お疲れさまでした。有難うございました。



追記：なお今年の「第28回東京校歌祭」は、2020年10月25日(日)と決まりました。より多くの皆様のご参加をお願い致します。